

単元名	(旧)つなぐんぐん(造形遊び)	配当時間	2時間
単元の目標	(1) 手などの感覚を十分に働かせ、材料の特徴を生かしながら、つなぎ方や組み合わせ方を工夫することができる。 (2) 場所を考えながら、新聞紙の棒をつないだり、組み合わせたりしてできる面白い形を思い付くことができる。 (3) 新聞紙の棒をつないでできる形のよさや面白さ、友達の表現の面白さを感じ取るることができる。 (4) 新聞紙の棒をつないだり、組み合わせたりする活動に興味をもって取り組もうとする。		

標準的な展開例

04080111_001

【準備等】新聞紙、セロハンテープ、のり

学 習 活 動	留 意 事 項 な ど
<p>1 グループに分かれて、場所を生かして、材料をどんどんつないでどんなことができそうか考える。</p> <p>○教科書の写真を参考にして、どこで、どんなことができそうかを話し合う。(言語活動)</p> <p>★新聞紙の棒をつないで、面白い形をつくろう</p> <p>○実際に新聞紙をつなぎ合わせて試しながら、大きな形を作っていく。</p> <p>2 つなぎ方や組み合わせ方を試しながら、どんどんつないでつくり、つくりかえていく。</p> <p>○他のグループの作品を鑑賞する。</p> <p>○できた形を組み合わせたり、並べたりしながら、作品を完成させる。</p>	<p>・教科書 3・4下 P. 26, 27</p> <p>・各校の実情に合わせて、新聞紙以外にも、木の枝、割り箸等を使用する展開にしてもよい</p> <p>・グループで協力し、話し合いながら計画を立てるようにさせる。</p> <p>【評】新聞紙の棒をつないだり組み合わせたりする活動に関心をもち、形や空間から感じられるイメージを友達と協力しながら楽しむ活動を通して、「造形への関心・意欲・態度」を評価する。</p> <p>・活動の過程で教科書を見て、場所を意識した表現の具体例を示したり、児童の試しているつなぎかたや面白い組み合わせ方の工夫などを紹介したりして、活動がなかなか広がらない児童がイメージをもちやすいようにする。</p> <p>・交代でほかのグループの活動を見て回り、形や活動のイメージをとらえる。</p> <p>・平面的にならないように、さまざまな方向から見ながら活動するように声かけをする。</p> <p>【評】新聞紙の棒をつなぐ活動を通して、形の面白さに気付いたり、場所の特徴を意識しながら、様々なつなぎ方や組み合わせ方を工夫したりする活動を通して、「創造的な技能」を評価する。</p>

【 備 考 】